

いまさら聞けない“金融経済”シリーズ vol.1



(ドクターロウキン)

今回のテーマ 円高と円安 (基礎編)



2022年4月から高校の家庭科において金融商品の特征など金融リテラシーに関する授業が学習指導要領に組み入れられたのはご存知かな? 子供たちは教育の中で「金融」について学ぶが、大人はどうじゃろか??

仕事や家庭生活の中でそういった機会はあまりないであろう。そんな状況を踏まえ、私ドクターロウキンは知っておいて損はない「金融経済」について学べる機会を作りたいと考えたんじゃ。これから「金融経済」に関して様々なことを取り上げていくから、みんなも一緒に学んでいくんじゃぞ。

かわせそうば 為替相場とは

光熱費、食費、衣料品など暮らしのあれこれに影響を与えているのが「為替相場」。円高や円安によってどのような影響があるのか学んでみよう!

世界には様々な通貨があり、海外でモノを買うには、「円」を外国の通貨に換える必要がある。その時の交換比率が「為替相場」なのじゃ! 世界で最も使われている通貨が「米ドル」であるから、テレビや新聞などでは、「1ドル〇〇円」とドルとの交換比率を取り上げ報じているんじゃ。

ここでクイズ!

下の①と②
どちらが「円安」に分かるかな?

①	1ドル 130円	→	1ドル 120円
②	1ドル 130円	→	1ドル 140円

答えは……②じゃ。

130円で購入できた1ドルの商品が、140円出さないと購入できなくなったということは、「円の持ち出しが増えた=円の価値が下がった」ということなのじゃ。なので②のケースでは「10円の円安」になったということじゃ。

まずは

円高や円安を理解するには「かわせそうば」を知る必要があるぞ。正しく意味を理解しておるかな??

円高・円安による影響

円高

〈メリット〉

個人: 輸入品が安く買える、海外旅行に安く行ける
企業: 輸入コストが下がり、輸入産業の業績向上

〈デメリット〉

個人: 海外資産で運用している場合、資産価値が下がる
企業: 輸出製品が高くなり、海外でもモノが売れにくくなる

円安

〈メリット〉

個人: 海外資産で運用している場合、資産価値が上がる
企業: 海外でモノが売れやすくなり、輸出企業の業績向上

〈デメリット〉

個人: 輸入商品が値上がりし、さまざまな物価が上昇する
企業: 輸入コストが増加し、輸入産業の利益が圧迫される

たった1円円安に動くだけで自動車産業の業績は数億円上振れすることもあるようじゃ!

ここ最近の物価上昇の要因

2022年から物価上昇が続いているが、その一因は急速な円安だったというわけじゃ。

右のグラフの通り、昨年は為替相場が大きく動いておるな。食料や資源など輸入に頼る日本ではその影響が多岐に亘ったというわけじゃな。



なぜ、2022年に円安が進んだか気になるじゃろ?

円安の最大の理由は「アメリカと日本の金利差」だと言われておるな。

このあたりの話はまた今度じゃ。今回はより具体的な「円高・円安」の仕組みについて解説するぞよ。これを学べばニュースや新聞の理解がさらに進むはずじゃ。では、また会おうぞ!

